

# 2019(令和元)年度 看護ハナマル先生による 模擬授業が行われました！

一般社団法人日本看護学教育学会は、看護学生さんからの推薦を受けて、令和元年度の看護ハナマル先生を選出しました。看護ハナマル先生には、京都で開催された日本看護学教育学会第29回学術集会(令和元年8月3日)にて模擬授業を行っていただきました。



推薦者である河原さん(大学3年生)は、小河先生の授業を受けた時の感動と学んだことを話してくれました。



小河一敏先生には、「看護覚え書」に学ぶ、生活科学～健康の法則を生活でつかむ・活かす～のテーマで授業を行っていただきました



模擬授業の後、新井英靖先生から授業の講評として「突き刺さるような学びの重要性」を教えてくださいました。



小河先生には、佐藤理事長(右)から感謝状が送られました。



小河先生と河原さんと模擬授業に参加してくれた(専)京都中央看護保健大学校1年生のみなさんとで記念撮影！



当日、会場には多くの方にご参加いただきました

# 会場参加者からのアンケート結果

会場のみなさんからたくさんの意見・感想が寄せられました。  
参加者数407名 アンケート回収数130枚 回収率31.9%

## Q1 所属 (n = 130)

区分	人数	%
大学	41	32%
短期大学	4	3%
専門学校	69	53%
病院・施設	10	8%
その他	4	3%

## Q2 職位 (n = 130)

区分	人数	%	区分	人数	%	区分	人数	%
教授	8	6%	副校長	2	2%	主任	8	6%
准教授	7	5%	教務主任	4	3%	スタッフナース	4	3%
講師	16	12%	実習調整者	7	5%			
助教	9	7%	実習専任教員	12	9%			
大学院生	1	1%	専任教員	22	17%			

Q3 参加者の臨床経験年数 13.8年 最大33年 最小2年

Q4 参加者の教員経験年数 8.9年 最大30年 最小0年

Q5 看護ハナマル先生模擬授業に参加した理由は何ですか？（自由記述・重複回答あり）

カテゴリ	サブカテゴリ	具体的な記載内容
今後の授業・教育への運用	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の授業・教育に活かしたい（11）</li> <li>授業の参考にしたい（21）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の授業に活かしたいと思った</li> <li>基礎看護学で環境の授業をしているので参考にしたい</li> </ul>
学生の関心を得る授業設計への学びの獲得	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生をひきつける講義のヒントを得たい（12）</li> <li>工夫点や教授内容、技術、多様な教育方法を学びたい（11）</li> <li>学生の学びにつながる授業設計を知りたい（3）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分自身の講義のヒントや参考になると思い参加した</li> <li>教授内容と技術を学びたい</li> <li>どのような授業が学生の学びにつながるのかを知りたい</li> </ul>
企画やタイトル、先生への興味関心	<ul style="list-style-type: none"> <li>模擬授業や企画に興味・関心がある（14）</li> <li>ナイチンゲール看護論の授業展開に興味がある（4）</li> <li>新井先生のコメントに興味があり、ファンである（3）</li> <li>タイトルやテーマに興味・関心を持った（2）</li> <li>小河先生を知っている（1）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学会誌の内容をみて興味をもてた</li> <li>ナイチンゲール看護論を授業でどのように展開していくのか興味があった</li> <li>新井先生の講評が聞きたくて。昨年も聞いてとてもよかった</li> </ul>
ハナマル先生の授業体験へのニーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生が推薦するハナマルがつく先生の授業を学んでみたい（7）</li> <li>他教員の授業を見る機会がなく、客観的に見てみたい（7）</li> <li>初心に戻り学生の身になって、授業を受けたい（1）</li> <li>学びを深める「対話」する授業が確認したかった（1）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハナマルがつくような先生の授業とはどんなものか知りたかった</li> <li>他の教員がどのような授業をしているのか見たかった</li> </ul>
企画の有効性に対する認識と期待	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加経験があり面白く、役立った（7）</li> <li>毎年、参加し、特色ある授業を楽しみにしている（4）</li> <li>臨地実習指導（基礎編）に参加し、模擬授業を受けたくなった（1）</li> <li>他学会で注目されている授業に一度、参加したかった（1）</li> <li>友人のすすめ（1）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年（第6回）がとても解りやすく、参考になった</li> <li>3回目の参加です。いろいろな先生の特徴ある授業は楽しみで、刺激的です</li> </ul>
基礎看護担当者としての自覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>テーマが基礎であり、基礎看護学を担当している（5）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎看護学を担当しており、日常生活とのつなげ方に興味があったため</li> </ul>
自己の授業の振り返りの機会	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の講義方法を振り返る機会にしたい（3）</li> <li>授業設計に悩んでいた（2）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の講義の方法について見直したかったため</li> <li>授業設計に悩むことが多かったため</li> </ul>
臨床での教育に役立てる	<ul style="list-style-type: none"> <li>新人教育研修計画に役立てたい（1）</li> <li>新人看護師への教育、学生への教え方に迷いがあった（1）</li> </ul>	

# 会場参加者からのアンケート結果

会場のみなさんからたくさんの意見・感想が寄せられました。  
参加者数407名 アンケート回収数130枚 回収率31.9%

## Q6 役立った点、感想 (自由記述・重複回答あり)

カテゴリ	サブカテゴリ	具体的な記載内容
領域横断的に研究された授業	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生の生活で考えられる仕掛けや工夫が研究された授業(17)</li> <li>看護学だけでなく物理学の視点を取り入れた授業(13)</li> <li>学生の思考の強化になる授業(8)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業内での仕掛けや工夫がよく考えられていた</li> <li>看護覚え書を物理学と共に教えていた</li> <li>学生の生活の場から患者の場への思考におろせると思った</li> </ul>
現実と学問の世界を往還する発問の重要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生の生活に結びつく発問により感情を揺さぶり、看護の面白さを伝えていた(15)</li> <li>問いの大切さ・立て方を学んだ(7)</li> <li>学生の現実世界と学問の世界を往還させる発問は難しいが参考になった(6)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生の生活を意識させながら、感情をゆさぶることの大切さを感じた</li> <li>学生の思考を動かす「問いの立て方」がとても参考になった</li> <li>学問と生活の往還が深い学びにつながるということがわかったが、さらに悩みそう</li> </ul>
解説による授業の理解度の高まり	<ul style="list-style-type: none"> <li>解説により授業の意味が理解でき参考になった(13)</li> <li>聞き取りやすい講義だった(2)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新井先生の解説でさらに何がハナマルなのか理解が深まった</li> <li>話すスピード、学生達への声掛け(投げかけ)なども参考になった</li> </ul>
授業設計へのヒントの獲得	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生に深い学び・気づきのある授業設計を今後、取り入れたい(9)</li> <li>学生が思考できる発問やナイチンゲールについて講義に取り入れたい(4)</li> <li>問いの立て方を考え、学生の感情をゆさぶるような講義をしたい(2)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験や経験と結びつけることで、深い学びになるので取り入れていきたい</li> <li>先生の発問やナイチンゲールについて講義に沢山入れたい</li> </ul>
自己の授業の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>自身の授業を振り返ることができた(9)</li> <li>教育は意図的・計画的・目的であることを再認識した(4)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生の生活を結び付けようと思っても上手くできない原因がみえた気がする</li> <li>授業資料の準備の大切さ</li> </ul>
看護と科学をつなぐ面白さと大切さ	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習の知識を引き出し、科学と看護つなげることの大切さ(7)</li> <li>看護と科学の統合がおもしろかった(4)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近なことにつないで考えさせること</li> <li>習ったことを生活と結び付けて実践していてすごく良いと思った</li> </ul>
学生に考えさせる授業が持つ成果の可能性	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生に考えさせる授業の構築が重要(6)</li> <li>看護覚え書から学生の生活を見直し、看護にも活用できることを知った(5)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生の体験とリンクさせて環境を整える意義を考慮することの効果</li> <li>読み解きが難しい覚え書を自分の生活にひきつけて考えることができていた</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生の分からないレベルが少しわかった(1)</li> <li>看護は複数の領域が関わるため知識として落とし込むには時間が大事。4年の大学教育が必要(1)</li> <li>模擬授業でディスカッションした学生1年生の考えに感動した(1)</li> <li>他の単元もききたい(1)</li> <li>模擬授業のディスカッションができる学生は、主体的に看護を学ぼうとする学生に限るのではないか。そうでない学生にはどのように教えたらよいか(1)</li> <li>ワクワク感がなかった。今回の模擬授業の進め方は、少し間伸びした感があった(1)</li> </ul>	

たくさんの方に参加していただきました。アンケートへのご協力、ありがとうございました。

日本看護学教育学会では、次年度も引き続き看護ハナマル先生を募集します。看護学生のみなさんからの推薦をお待ちしております。

一般社団法人 日本看護学教育学会 教育活動委員会  
委員長 前田ひとみ  
委員一同